

# 令和7年度第1回歯科口腔保健審議会

日時 令和7年5月15日(木)

13時00分～14時15分

場所 さいたま市役所

議会棟2階 第6委員会室

## 次 第

### 1 開会

### 2 議事

- (1) さいたま市健康づくり計画(第2次さいたま市歯科口腔保健推進計画)の進行管理について 資料1、資料2、資料3

### 3 報告

- (1) 働き盛り世代の歯と口の健康づくり事業について 資料4
- (2) 令和6年度口腔ケア研修会について 資料5
- (3) さいたま市障害者歯科相談医等連携・紹介事業について 資料6

### 4 挨拶

### 5 閉会

# 歯科口腔保健審議会委員名簿

令和6年7月16日

	所 属	氏 名	備考
1	さいたま市歯科医師会 会長	まき じゅんいち 巻 淳一	
2	一般社団法人 浦和歯科医師会 会長	しみず ひろゆき 清水 裕之	
3	一般社団法人 大宮歯科医師会 副会長	さかた としお 坂田 俊夫	
4	一般社団法人 与野歯科医師会 会長	かねこ ひさあき 金子 久章	
5	さいたま市4医師会連絡協議会 一般社団法人 さいたま市与野医師会 会長	いわさき あや 岩崎 彩	
6	一般社団法人 大宮医師会 理事	たけいし ようこ 武石 容子	
7	一般社団法人 さいたま市薬剤師会 会長	の だ まさみつ 野田 政充	
8	公益社団法人 埼玉県歯科衛生士会 監事	おおくぼ き え こ 大久保 喜恵子	
9	明海大学 名誉教授	やすい としかず 安井 利一	
10	埼玉県立大学 教授 保健センター 所長	なめかわ みちと 滑川 道人	
11	大崎むつみの里 第1事業所 生活介護事業 施設長	たじま じゅんこ 田島 淳子	
12	社会福祉法人 さいたま市社会福祉協議会 在宅サービス課長	おおたに あつこ 大谷 敦子	
13	市民公募委員	やまぐち ゆ り こ 山口 百合子	
14	市民公募委員	さいとう きょうこ 斎藤 杏子	
15	さいたま市保健所長	くわしま あきふみ 桑島 昭文	

(任期：令和5年7月1日～令和7年6月30日)

歯科口腔保健審議会関係課名簿

所属	役職	氏名
保健部	部長	齋藤 貴弘
健康支援課	主任	野中 祐里
国保年金課	課長補佐兼係長	関 敏宏
いきいき長寿推進課	係長	松尾 真二
母子保健課	参事兼課長	清水 雅子
桜区保健センター	所長	永井 敏子
健康教育課	主任指導主事兼係長	西川 裕樹
保健衛生総務課	参事兼課長	浅野 昌則
	副参事	久保 勝
	参与	今野 弘美
	課長補佐兼係長	白鳥 孝太郎
	主査	小澤 彩
	主査	中村 恒太
	歯科医師	佐伯 真弓

## 大目標 健康で質の高い生活のための歯科口腔保健の実現

## 中目標 歯科疾患の予防

〈むし歯の予防による健全な歯・口腔の機能の育成・保持の達成を図ります〉

目標指標 3歳児歯科健康診査で4本以上のむし歯を有する幼児の割合／12歳児でむし歯のない生徒の割合／20歳以上におけるむし歯のない人（治療済も含む）の割合

〈歯周病の予防による健全な歯・口腔の保持の達成を図ります〉

目標指標 40歳以上における歯周炎を有する人の割合／過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合／歯科検診を行っている事業所の割合

**R 6 具体的取組** ・は市主体の取組、○は関係団体主体の取組、◎は市と関係団体の共催

**こども**

- ・リーフレット配布による乳歯萌出前からのむし歯予防啓発 ・離乳食教室
- ・むし歯予防教室（保健センター、市立保育園等）・乳幼児育児相談 ・幼児歯科健康診査（1.6歳児、3歳児）・フッ化物塗布 ・幼児歯科健康診査事後指導 ・市立保育園歯科健診
- ・乳幼児施設従事者歯科講習会 ○（新規・継続）児童センターでの歯みがき指導と講話
- ・学校歯科健康診断 ・学校歯科巡回指導（小・中・中等教育学校）・学校歯科保健コンクール
- ポスターコンクール（園児）◎図画・ポスター展（小学生・中学生） ○8020歯の健康教室
- 歯・口腔に関する標語コンクール

**成人壮年期**

- ・成人歯科健康診査 ・ブラッシング指導 ○学校保健委員会
- むし歯歯周病教室（職業センター）

**高齢者**

- ・口腔機能健康診査 ○口腔機能向上フォローアップ教室

**女性**

- ・妊婦歯科健康診査

**こども、成人壮年期**

- 8020歯の健康教室 ○歯みがき講話

**こども、女性**

- ・母子保健歯科相談

**成人壮年期、女性**

- ・出産前教室

**成人壮年期、高齢者**

- ・成人歯科相談 ○口腔がん検診

**成人壮年期、高齢者、こども**

- ・歯周病予防普及啓発事業 ○区民祭りへの参画 ○市民の健口フェスティバル
- ・歯科疾患予防普及啓発

**こども、成人壮年期、高齢者、女性**

- ・市HPを活用した啓発 ○医歯薬連携活用ツールの共有
- 障害児者施設への歯科健康診査、保健指導

**取組の成果・課題・今後の方向性等****こども**

【成果】乳幼児から学齢期まで、歯科健康診査、健康教育、歯科相談やイベントの開催を通じて、切れ目のない歯科保健の取組を実施した。

【今後の方向性】3歳児でむし歯のない幼児の割合を増やすため、対象者に応じた指導や教育内容を工夫する。また、ライフステージの早い段階である学齢期に歯周疾患を予防できる生活習慣を身につけ、その行動を継続できるよう引き続き事業を継続する。

**成人壮年期**

【成果】歯科健康診査、健康教育、歯科相談やイベントの開催を通じて、定期的な歯科健康診査の必要性や歯間清掃用具等を用いたセルフケアの方法を伝えることができた。

【今後の方向性】歯周病の予防による健全な歯・口腔の保持達成のため、引き続き実施方法や周知方法を工夫し、事業を実施していく。

**高齢者**

【成果】健康診査や教室の開催を通じて、オーラルフレイル予防の重要性を周知することができた。

【今後の方向性】引き続き事業を実施していく。健康診査については、市民への周知、受診勧奨方法を検討していく。

**女性**

【成果】妊娠期という口腔内の環境が悪化しやすい時期に、妊婦歯科健康診査や出産前教室を実施することで、歯周疾患予防対策とセルフケアの必要性について、周知することができた。

【今後の方向性】妊婦とその家族にも歯科疾患予防に取り組んでもらえるよう、指導内容を充実させ、事業を継続していく。

大目標 健康で質の高い生活のための歯科口腔保健の実現

中目標 生活の質の向上に向けた口腔機能の獲得・維持・向上

〈生涯を通じた口腔機能の獲得・維持・向上を図ります〉

目標指標 40歳以上における自分の歯が19歯以下の人の割合／50歳以上における咀嚼良好者の割合／80歳代で20歯以上の自分の歯を有する人の割合／  
(再掲) ゆっくりよく噛んで食べる人の割合(1～15歳)、(16歳以上)

R 6 具体的取組 ・は市主体の取組、○は関係団体主体の取組、◎は市と関係団体の共催

こども

・離乳食教室 ・育児相談 ・母子保健歯科相談

成人壮年期

○市民のための健康教室

高齢者

・口腔機能健康診査 ・低栄養防止事業 ・公民館介護予防事業

・シニアユニバーシティ

○8020よい歯のコンクール

○口腔機能向上フォローアップ教室

○包括医療及びケア実践のための多職種連携協議

・健口教室

・健口づくり交流会

・介護予防事業

○在宅医療・介護連携推進会議

○市民公開講座

○老人福祉センターでの歯科衛生士講話

○高齢者に対する口腔ケア

成人壮年期、高齢者

・成人歯科相談

成人壮年期、高齢者、こども

・歯周病予防普及啓発事業 ・歯科疾患予防普及啓発

成人壮年期、高齢者・女性

○医歯薬連携推進研修会

こども、女性

・母子保健歯科相談

こども、成人壮年期、高齢者、女性

・市HPを活用した啓発

○地域サロンの実施 ○薬物乱用キャンペーンの実施

○障害児者施設への歯科健康診査、保健指導

取組の成果・課題・今後の方向性等

こども

【成果】講義や実習を主とした、様々な歯科保健事業を実施し、むし歯予防に必要な保健行動を身に付けるとともに、お口のケアと口腔機能の発達について正しい情報を伝えることができた。

【今後の方向性】乳幼児期は、口腔機能獲得の重要な時期であるため、むし歯予防とともに食べる力を育むための事業を継続して実施していく。

成人壮年期

【成果】健康教育、相談、歯科健康診査の場で、定期的な歯科健康診査の必要性や清掃補助用具などを用いたセルフケア方法を伝え、その人に合った歯科保健指導を実施するとともに、知識の普及啓発を行うことができた。

【今後の方向性】歯科健康診査については、受診率が低いため、受診勧奨を検討していく。また、健康教育については、集客に課題があるため、実施方法、周知方法を工夫し、引き続き実施していく。

高齢者

【成果】口腔ケアや口腔体操などの実践を交えた健康教育や保健指導を実施することにより、フレイル予防についての知識の普及と口腔ケアの実践等生活習慣の改善が見られた。

【今後の方向性】

事業の実施内容や、周知方法を検討し、引き続き事業を実施していく。

女性

【成果】歯科健康相談にて、個別対応することにより、むし歯予防と併せ養育者の育児負担感の軽減に寄与した。また、健康教育や市ホームページによる啓発により、セルフケアの推進、口腔機能維持に努めることができた。

【今後の方向性】

歯科相談を随時行っていることを他の事業でも周知していく必要がある。また、生涯を通じた口腔機能維持のため、口腔ケアや口腔体操などの重要性を周知していく。

大目標 健康で質の高い生活のための歯科口腔保健の実現

中目標 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な方に対する歯科口腔保健

〈定期的な歯科検診・歯科医療を推進し、むし歯や歯周疾患を予防します〉

目標指標 障害者・障害児が利用する施設での過去1年間の歯科検診実施数／要介護高齢者が利用する施設での過去1年間の歯科検診実施数／（仮称）さいたま市口腔保健センターの開設

R 6 具体的取組 ・は市主体の取組、○は関係団体主体の取組、◎は市と関係団体の共催

**こども**

- ・母子保健歯科相談

**高齢者**

- 口腔機能向上フォローアップ教室

**成人壮年期、高齢者**

- ・訪問歯科健康診査
- ・成人歯科相談

**成人壮年期、高齢者、こども**

- ・歯科疾患予防普及啓発事業

- 要介護高齢者及び障害者の口腔ケア

**こども、成人壮年期、高齢者、女性**

- ・口腔ケア研修会
- ・口腔保健センター開設事業
- ・市HPを活用した啓発

- 障害児者施設への歯科健康診査、保健指導

**こども、女性**

- ・母子保健歯科相談

取組の成果・課題・今後の方向性等

**こども**

【成果】利用者が慣れた場所である、障害児事業所において、歯科健康診査、ブラッシング指導、フッ化物塗布を実施し、歯科疾患を予防するとともに、かかりつけ医のいない方へ定期的な歯科健康診査の受診について周知を行うことができた。

【今後の方向性】継続して事業を実施していくとともに、歯科健康診査を実施できなかった児に対する対応の検討や歯科健康診査後の受診状況の確認を行っていく。

**成人壮年期**

【成果】障害者事業所において、歯科健康診査、ブラッシング指導、フッ化物塗布を実施し、口腔内の状況を家族と共有することができた。

【今後の方向性】引き続き事業を実施していくとともに、障害児者を診察してくれる医療機関の紹介や、歯科健康診査が受けられなかった方の保護者へ連絡を行うことで歯科受診に繋げていく。

**高齢者**

【成果】教室の開催や施設への訪問口腔ケア、訪問歯科健康診査の実施により、口腔機能の維持向上についての普及啓発と健康な口腔状態の維持に寄与した。

【今後の方向性】引き続き事業を実施していく。

また、訪問歯科健康診査については、健康診査の実施までの流れをスムーズにするため、申込方法変更し、事業を継続していく。



新規 継続	事業名	対象 回数 定員等	内容	主たる分野別 中目標	口腔の健康以外で 該当する分野別 中目標	ライフコース				担当課名/ 関係団体名
						こ ども	成 人 在 年 期	高 齢 者	女 性	
継続	口腔ケア研修会	(1) 市内障害者(児)通所、入所サービス事業所 1回 (2) 市内介護保険サービス事業所 2回	口腔ケアに関する講義と実習を実施する。	3-3 歯・口腔の健康 /定期的に歯科検診又は 歯科医療を受けること が困難な方に対する 歯科口腔保健		✓	✓	✓		保健衛生総務課
継続	口腔保健センター開設事業	障害者(児)及び要介護高齢者	(仮称)さいたま市口腔保健センター等施設の実施設計等を実施する。	3-3 歯・口腔の健康 /定期的に歯科検診又は 歯科医療を受けること が困難な方に対する 歯科口腔保健		✓	✓	✓		
新規 継続	障害者歯科相談医等連携紹介事業	障害者(児)及び要介護高齢者	【新規】埼玉県歯科医師会口腔保健センターから患者の紹介を受け、地域の歯科 医療機関で、受け入れることにより、患者やその家族の通院負担の軽減や予約待 機時間の短縮を図るため、障害者歯科相談医等連携、紹介会議を開催する。 【継続】障害者(児)の歯科受診機会の確保のため、障害者歯科相談医等が在籍す る地域の歯科医療機関情報を掲載したガイドブックを作成及び配布する。	3-3 歯・口腔の健康 /定期的に歯科検診又は 歯科医療を受けること が困難な方に対する 歯科口腔保健		✓	✓	✓		
継続	乳幼児施設従事者歯科講習会の充実 (保育園等職員歯科研修会)	保育園・幼稚園等職員	歯科に関する講義を実施する。	3-1 歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	成人歯科健康診査の充実	40歳~70歳	指定歯科医療機関での個別健診を実施する。	3-1 歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防			✓			
継続	口腔機能健康診査	71歳以上 ※令和7年4月1日時点で75歳又は80歳の後期高齢者医療被保険者は除く	指定歯科医療機関での個別健診を実施する。	3-1 歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防 3-2 歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		
継続	訪問歯科健康診査	40歳以上で在宅療養中の寝たきりの方等で歯科健診を受ける機会のない方	歯科医師等が自宅を訪問し歯科健診を行う。	3-3 歯・口腔の健康 /定期的に歯科検診又は 歯科医療を受けること が困難な方に対する 歯科口腔保健			✓	✓		健康支援課
継続	ホームページ、市報、SNSの活用	市民	各媒体を活用し、歯科保健に関する普及啓発を実施する。	3-1 歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防 3-2 歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上 3-3 歯・口腔の健康 /定期的に歯科検診又は 歯科医療を受けること が困難な方に対する 歯科口腔保健		✓	✓	✓	✓	
新規	口腔機能低下防止事業	後期高齢者健康診査受診者のうち口腔機能低下が疑われる者 保健指導：2回 定員：25人	口腔機能低下防止を図る訪問及び電話保健指導	3-2 歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		国保年金課
継続	シニアユニバーシティ	シニアユニバーシティ参加者(60歳以上の市民) 実施回数：12回 シニアユニバーシティの定員：990人	シニアユニバーシティの1講座として、歯科医師及び歯科衛生士、栄養士等による 高齢者の口腔機能向上のための摂食・嚥下機能等に関する講座を行う。	3-2 歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		高齢福祉課
継続	健口教室	対象：市内在住で、65歳以上の方 実施回数：区ごとに年1コース、1コース3日間開催 定員：200人(予定)	フレイル(虚弱)予防、肺炎予防、認知症予防のために高齢期の栄養や口腔機能 の向上について学ぶ。	3-2 歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		
継続	健口づくり交流会	対象：市内在住で、65歳以上の方 実施回数：年2回開催 定員：100人(予定)	健口教室参加者のフォローアップや、教室の周知を目的として、歯科医師及び歯 科衛生士、栄養士による高齢者の口腔機能向上のための講演及び参加者による交 流会を実施する。	3-2 歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		いきいき長寿 推進課
継続	公民館介護予防事業	65歳以上の市民	【介護予防普及啓発事業】に関する教室を「公民館介護予防事業」として、区高 齢介護課、いきいき長寿推進課及び各公民館による主催並びに生涯学習総合セン ターの協力により開催する。 1 生きがい健康づくり教室 2 ますます元気教室	3-2 歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		
継続	妊婦歯科健康診査の充実	さいたま市に住所を有する妊婦の方	・通年 ・指定歯科医療機関での個別健診を実施する	3-1 歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防					✓	母子保健課
継続	1歳6か月児歯科健康診査の充実	1歳6か月から2歳未満の子ども	・通年 ・指定歯科医療機関での個別健診を実施する	3-1 歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	フッ化物塗布	1歳6か月から2歳未満の子ども	・通年 ・指定歯科医療機関での個別健診を実施する(平成18年度~) ※令和3年度から、2回目のフッ化物塗布を廃止	3-1 歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	3歳児歯科健康診査の充実	3歳から4歳未満の子ども	・通年 ・指定歯科医療機関での個別健診を実施する	3-1 歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	乳歯萌出前からのむし歯予防の充実	・新生児訪問・ハローゼンゼル訪問対象者 ・10か月児健診対象者	新生児・ハローゼンゼル訪問時と10か月児健診票送付の際に、むし歯予防のリー フレット配布する	3-1 歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				母子保健課/ 各区役所 保健センター

さいたま市健康づくり計画 歯・口腔の健康 令和7年度取組予定(庁内関係課)

新規 継続	事業名	対象 回数 定員等	内容	主たる分野別 中目標	口腔の健康以外で 該当する分野別 中目標	ライフコース				担当課名/ 関係団体名
						こども	成人 在 年期	高齢 者	女性	
継続	出産前教室	初妊婦(各区の実情に応じ設定) 回数:56回 定員:1198名(妊婦)	歯科衛生士による 講話や実習	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓		✓		各区役所 保健センター
継続	幼児歯科健康診査事後指導	1歳6か月児・3歳児歯科健康診査受診者のうち、むし歯のある児およびむし歯に なりやすい生活習慣の児 随時	対象者を抽出し、手紙や電話、来所相談等で歯科保健指導を行う	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防	✓					
継続	むし歯予防教室 (1歳~1歳5か月児)	おおむね1歳から1歳5か月児とその保護者 回数:120回 定員:1,608組	歯科衛生士によるむし歯予防の講話と実習	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防	✓					
継続	むし歯予防教室 (市立保育園)	市立保育園児及び保護者、保育士等 回数:79回	歯科衛生士によるむし歯予防の講話や実習	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防	✓					
継続	むし歯予防教室 (地区健康教育)	乳幼児・保護者等 随時	歯科衛生士によるむし歯予防の講話や実習	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防	✓					
継続	離乳食教室	おおむね生後4か月から5か月児の保護者 回数:120回 定員:2,790人	歯科衛生士による歯科保健に関する講話	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防 3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上	✓					
継続	育児相談 (乳児期・幼児期)	乳幼児 回数:215回	歯科衛生士による歯科保健指導	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防 3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上	✓					
継続	母子歯科健康相談	妊婦、産婦、乳幼児、学童随時	歯科衛生士による歯科保健指導	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防 3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上 3-3歯・口腔の健康 /定期的に歯科検診又 は歯科医療を受けるこ とが困難な方に対する 歯科口腔保健	✓			✓		
継続	歯周病予防普及啓発事業 (教室)	各区の実情に応じ設定 回数:56回 定員:1698名	歯科医師や歯科衛生士による講話や実習	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防 3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上	✓	✓	✓			
継続	成人歯科健康相談	成人 随時	歯科衛生士による歯科保健指導	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防 3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上 3-3歯・口腔の健康 /定期的に歯科検診又 は歯科医療を受けるこ とが困難な方に対する 歯科口腔保健		✓	✓			
継続	歯科疾患予防普及啓発	市民	イベントや各種媒体で歯科に関する情報発信	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防 3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上 3-3歯・口腔の健康 /定期的に歯科検診又 は歯科医療を受けるこ とが困難な方に対する 歯科口腔保健	✓	✓	✓			
継続	歯科健康診断	全市立小・中・中等教育・高等学校	歯科健診	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				健康教育課
継続	8020歯の健康教室 (歯みがき指導)	全市立小学校(104校)の1・2・3年生	動画による歯みがき指導	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	学校歯科巡回指導	全市立小学校(104校)の5年生	歯肉の自己観察、歯垢チェック、歯みがき指導を学級単位で実施	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	中・中等教育学校歯の健康指導	全市立中・中等教育学校(59校)の2年生	歯垢付着状況等をチェックし、歯周病予防と全身疾患との関りについて、学級単 位で実施	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	学校歯科保健コンクール	全市立小・中・中等教育学校のうち応募校	埼玉県学校歯科保健コンクール地区審査会として実施	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	歯・口の健康に関する 図画・ポスター展	歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール中央審査会において入賞した 100作品	100作品の表彰	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				

さいたま市健康づくり計画 歯・口腔の健康 令和7年度取組予定(庁内関係課)

新規 継続	事業名	対象 回数 定員等	内容	主たる分野別 中目標	口腔の健康以外で 該当する分野別 中目標	ライフコース			担当課名/ 関係団体名	
						こ ども	成 人 社 会 期	高 齢 者		女 性
継続	公民館介護予防事業	65歳以上 西区 72回 北区 72回 大宮区 126回 見沼区 48回 中央区 72回 桜区 78回 浦和区 216回 南区 132回 緑区 72回 岩槻区 84回	いきいき百歳体操、認知症、口腔・栄養等を学ぶ介護予防事業	3-2 歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向 けた口腔機能の獲得・ 維持・向上	4-1 栄養・食生活/ 世代ごとの特徴をふま えた食生活の推進  5-1 身体活動・運動 /日常的に意識して取 り組む運動習慣  6-1 休養・こころの 健康/ストレスの解消			✓		生涯学習総合セン ター(公民館)

さいたま市健康づくり計画 歯・口腔の健康 令和7年度取組予定(関係団体)

新規 継続	事業名	対象 回数 定員等	内容	主たる分野別 中目標	口腔の健康以外で 該当する分野別 中目標	ライフコース				担当職名/ 関係団体名
						こども	成人 壮年 期	高齢 者	女性	
継続	歯、口に関する 図画ポスターコンクール	小中学児童・生徒	児童・生徒のポスターを4月～7月に募集	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				さいたま市 歯科医師会
継続	口腔機能向上フォローアップ教室	65歳以上の高齢者を対象に大宮区、北区、見沼区、岩槻区、桜区、緑区でそれぞれ2回で1セットの教室を開催予定。定員はそれぞれ30人位まで	桜区8月7日、9月11日 大久保公民館、桜区役所 北区9月11日、10月2日 宮原公民館 岩槻区10月9日、11月6日 岩槻区役所 緑区10月23日、11月20日 尾間木公民館 見沼区1月15日、2月12日 見沼区役所 大宮区1月8日、2月5日 大宮歯科医師会	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防  3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上			✓			
継続	健口づくり交流会	主に高齢者を対象に浦和区と大宮区の会場で1回ずつ開催予定 定員はそれぞれ60人位	浦和区 9月25日 浦和コミュニティーセンター 大宮区 2月19日 シーノ大宮 お口の健康について歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士の講演と参加者とのグループワークを行う	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防  3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		
継続	口腔がん検診	はがきによる申込者	市民に対し口腔がんの早期発見の重要性を認識してもらえるよう啓蒙活動の一環 として事業を継続していく	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防	1-2がんの予防/生活 習慣の改善による発 症予防	✓				
継続	在宅医療・介護連携推進会議	医師、歯科医師等多職種	医師会館にて多職種と在宅医療・介護に関して協議を行う	3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		
継続	在宅医療・介護連携推進会議	在宅医療、介護従事者	多職種による連携強化のための意見交換会	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防				✓		
継続	歯、口に関する 図画ポスターコンクール	小中学児童・生徒	児童・生徒のポスターを4月～1月に募集、表彰	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				(一社) 浦和歯科医師会
継続	歯・口に関する標語コンクール	小中学児童・生徒	児童・生徒の標語を4月～1月に募集	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	8020歯の健康教室 (学級バージョン)	小中学児童・生徒	希望のあった小中学校で歯科保健指導を行う	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	障害者施設への歯科健診、 保健指導	各施設の入所および通所者	さくら草学園・療育センターさくら草・大崎むつみの里(児童学園・就労継続・ 生活介護)・第1やまぶき・第2やまぶき・榎の木・しびらき・犬も歩け ば・・・。 歯科健診と保健指導	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓	✓	✓		
継続	区民まつりへの参画	区民まつりへの来場者	岩槻区のみ参加 市民への啓蒙活動と、市民からの質問への回答	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓	✓	✓	✓	
継続	市民公開講座	市民公開講座への来場者	市民に「オーラルフレイル」について理解していただき、対策を学んでいただく	3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		
継続	よい子の歯のポスターコンクール	幼稚園児 年一回	6月8日 大宮ソニックシティホール ポスター展示・表彰	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				(一社) 大宮歯科医師会
継続	8020歯の健康教室	児童・教職員・保護者	市立小学校の一部 歯科保健に関する講話	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓	✓			
継続	8020歯の健康教室 (学級バージョン)	児童・教職員・保護者	市立小学校の一部 歯科保健に関する講話	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓	✓			
継続	市民のための健康教室	市民	口腔の健康に関する講話	3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上			✓			
継続	8020よい歯のコンクール	80歳以上で自身の歯が20本以上ある市民	6月8日 大宮ソニックシティホール 対象者の審査・表彰	3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		
継続	口腔機能向上フォローアップ教室	市民	口腔機能の維持向上に関する講話と運動等	3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		(一社) 大宮歯科医師会
継続	包括医療及びケア実践のための 多職種連携協議	歯科医師・歯科衛生士・関連職種	多職種と連携し、地域包括ケアシステムを推進	3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		
継続	歯と口の健康に関するポスター展 (大宮)	児童生徒	ポスター展示・表彰	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				

さいたま市健康づくり計画 歯・口腔の健康 令和7年度取組予定(関係団体)

新規 継続	事業名	対象 回数 定員等	内容	主たる分野別 中目標	口腔の健康以外で 該当する分野別 中目標	ライフコース				担当職名/ 関係団体名
						こども	成人 壮年 期	高齢 者	女性	
継続	区民まつり	市民	歯科保健の大切さを周知	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓	✓	✓		(一社) 大宮歯科医師会
継続	市民の健口フェスティバル	市民	6月8日 大宮ソニックシティホール 乳幼児から高齢者まで家族皆でお口の健康について理解してもらう	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓	✓	✓		
継続	8020よい歯の審査会	高齢者 6月に開催予定	旧中央区保健センターにて80歳で20本以上歯がある方に来ていただき、歯科 医師による審査及び表彰を行う。	3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		(一社) 与野歯科医師会
継続	8020よい歯のポスター審査会	児童・生徒	中央区内の小・中学校のよい歯のポスターを募集、審査会を開催する	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	8020歯の健康教室 (学校バージョン)	小学生・中学生	学校歯科医が体育館等で児童や保護者に講和を行う。また、歯科衛生士が、歯み がき指導等を行い、歯科疾患の予防啓発を行う。	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	8020歯の健康教室 (学級バージョン)	小学生・中学生	学級単位で学校歯科医が、成長期の子供たちに講和を行う。	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	障害者施設・就労施設歯科健診	障害者	障害者施設に訪問し歯科医師が健診を実施。 歯科衛生士が親御さん、本人に日頃のケアについて指導を行う。	3-3歯・口腔の健康 /定期的に歯科検診又 は歯科医療を受けるこ とが困難な方に対する 歯科口腔保健		✓	✓			
継続	研修会実施	さいたま市内薬局薬剤師 2回/年 300名/回を限度	半年に1回程度、日程は未定 場所：ハイブリッド型研修（オンライン現地併用） 内容：医薬業連携の推進に向けて（「第〇回医薬業連携推進の会」として開催）	3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上	2-1循環器疾患・糖 尿病の予防/特定健康 診査や人間ドックの受 診率の向上	✓	✓	✓		
継続	医薬業連携の推進	さいたま市内薬局薬剤師	薬局を起点とした受診勧奨フローの作成	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防	2-2循環器疾患・糖 尿病の予防/生活習慣 の改善による発症予防		✓	✓		
継続	地域サロンの実施	さいたま市民 10回/年 40名程度/回を上限	場所：自治会館、公民館等 内容：健康測定（骨密度、血管年齢測定）、健康相談、講演会の実施等	3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上	1-2がんの予防/生 活習慣の改善による発 症予防 2-2循環器疾患・糖 尿病の予防/生活習慣 の改善による発症予防			✓		(一社) さいたま市 薬剤師会
継続	薬物乱用防止キャンペーンの実施	さいたま市民 2回/年 3,000名程度	場所：浦和駅、さいたま新都心駅前 内容：各種啓発活動 チラシの配布等	3-3歯・口腔の健康 /定期的に歯科検診又 は歯科医療を受けるこ とが困難な方に対する 歯科口腔保健	4-2身体活動・運動 /ウォーキングを通じ た健康づくり 4-2栄養・食生活/ 持続可能な食の環境づ くり		✓	✓	✓	
継続	幼稚園・ 中学校歯科保健指導	市内各学校の幼児、生徒、幼稚園 (各1回500人)・小学校(700人)・中学校(8,000人)	幼稚園(5校 5月・6月) 小学校(8020学級単位 12月) 中学校(59校 5月~12月)	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防	4-2栄養・食生活/ 持続可能な食の環境づ くり 7-1喫煙/喫煙率の 減少 8-2飲酒/20歳未満 の飲酒をなくす		✓			
継続	障害者施設 歯科保健指導	療育センター、施設(どんぐり3回・45人)、(ひまわり園36回・180人)、 (さくら草52人)、やまぶき(1回、31人)、大崎むつみ、1回、39人)、春光 園(けやき1回、122人・うえみず1回、15人)	春里どんぐりの家(3回、歯科保健指導)・ひまわり学園(36回、診療補助、フッ 化物洗口事業)・さくら草学園(歯科保健指導)・大崎むつみ(1回歯科保健指 導) 口腔ケア、毎年1回、各施設	3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上		✓	✓			(公社) 埼玉県 歯科衛生士会
継続	健康まつり	市民対象(300人)	市民の健康フェスティバル 1回、300人	3-1歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓	✓	✓		
継続	健康教室・通いの場	健口教室(さいたま市10区/30人以内)、通いの場(27圏域x2回x20人)、フォ ローアップ事業(岩槻区、北区、桜区、緑区、見沼区x20人)	さいたま市内 健口教室(さいたま市10区 口腔ケア、栄養改善、認知症予 防)、通いの場(身近な場所で、住民同士が、自主的に介護予防に役立つ活動 27圏域)、フォローアップ(口腔機能向上フォローアップ事業5区)	3-2歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		
継続	歯科保健事業	特別養護きりしき施設入居者 12回 440人	月1回口腔ケア、年2回全員歯科健診	3-3歯・口腔の健康 /定期的に歯科検診又 は歯科医療を受けるこ とが困難な方に対する 歯科口腔保健				✓		

さいたま市健康づくり計画 歯・口腔の健康 令和7年度取組予定(関係団体)

新規 継続	事業名	対象 回数 定員等	内容	主たる分野別 中目標	口腔の健康以外で 該当する分野別 中目標	ライフコース				担当職名/ 関係団体名
						こども	成人 壮年 期	高齢 者	女性	
新規 継続	歯科口腔保健事業 歯みがき指導等	乳幼児とその保護者	15か所の児童センターにおいて、歯科衛生士による講話、ブラッシング指導、歯科相談等を実施	3-1 歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防 3-2 歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上		✓				(福)さいたま市 社会福祉事業団
継続	歯科健診・ブラッシング指導	事業所利用者	延べ9か所の障害者事業所において、歯科医師による歯科健診、歯科衛生士によるブラッシング指導、フッ化物等実施	3-1 歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防 3-2 歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上 3-3 歯・口腔の健康 /定期的に歯科検診又は 歯科医を受診すること が困難な方に対する 歯科口腔保健			✓			
継続	歯科健診・ブラッシング指導	事業所利用者	4か所の障害者事業所において、歯科医師による歯科健診、歯科衛生士によるブラッシング指導、フッ化物塗布等実施	3-1 歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防		✓				
継続	歯科衛生士講話	高齢者 1回 10名程度	施設名：老人福祉センター寿楽荘 日程：未定 場所：自治会館集會室 内容：歯科衛生士・栄養士による講話	3-2 歯・口腔の健康 /生活の質の向上に向け た口腔機能の獲得・ 維持・向上				✓		
新規	むし歯歯周病予防教室	2回 各40名	施設名：日進職業センター 日程：6月、2月 場所：施設内 内容：さいたま市北区保健センターの歯科衛生士による、ブラッシング指導及び歯周病予防指導	3-1 歯・口腔の健康 /歯科疾患の予防			✓			

## 働き盛り世代の歯と口の健康づくり事業について【案】

### 事業所における歯と口の健康づくりを支援

歯と口の健康は、糖尿病や循環器疾患（脳卒中、心筋梗塞等）などの全身の健康に影響があることが分かっています。長く健康に働き続けるためには、むし歯予防対策や歯周病予防対策といった歯と口の健康づくりが重要です。

しかしながら、働き盛り世代は、日々の仕事や家庭などの忙しさにより、定期的な歯科健診やセルフチェックの機会が減ってしまい、口腔ケアがおろそかになりがちです。**働き盛り世代は歯周病の急増期とも言われており、さいたま市の調査では、40歳以上における約2人に1人が歯周病であり、その割合は増加傾向にあります。**

**さいたま市では、事業所において、従業員の歯と口の健康づくりに向けた職場環境の整備や啓発に取り組んでいただけるよう、「働き盛り世代の歯と口の健康づくり事業」を実施します。**

### 1 ポスター（データ）の提供

市が歯と口の健康づくりに関するポスターを作成し、そのデータを事業所に対して提供します（ポスターデータを市ホームページに掲載）。

従業員に、昼食後の歯みがきなどの際にポスターを見ていただけるよう、事業所に対して、ポスターを印刷し、洗面所やお手洗いの壁に貼っていただくよう依頼します。ポスターのデータは、概ね2箇月に1回、変更します。

【テーマ（予定）】

6月	歯周病のチェックをしましょう	11月	「かむ」から始めるメタボ予防
7月	喫煙と歯周病	1月	定期的に歯科健診を受けましょう
9月	さいたま市では成人歯科健診を実施しています	3月	歯ブラシ、フロス等の使い方

### 2 先進事例の紹介

事業所における歯科健診の実施や歯科健診受診費用の補助、歯ブラシの支給など、事業所における歯と口の健康づくりに関する先進事例を、市のホームページで紹介します。

### 3 リーフレット「大人のための歯と口の健康づくり」の送付

希望する事業所に対して、市で作成している歯と口の健康づくりに関するリーフレットを送付します。



リーフレット表紙

### 4 歯科医師及び歯科衛生士を講師として派遣

協会けんぽ埼玉支部が実施する「健康保険委員研修会」に、本市の歯科医師及び歯科衛生士を講師として派遣します。

**上記の1～3の取組は、協会けんぽ埼玉支部のメールマガジンを活用し、県内約12,000事業所に対して周知（市内約2,500事業所）。**

## 歯周病のチェックをしましょう！

お口の疾患は様々な全身疾患と関連していることが報告されていて、お口の健康状態は全身的な健康状態と密接な関連があります。特に、糖尿病と歯周病は互いに深く関連して進行する病気です。歯周病チェックリスト、鏡によるセルフチェックで、お口の健康をチェックしてみませんか？

### 歯周病チェックリスト☑

- 朝起きたときに、口の中がねばねばする
- 歯みがきのときに、出血する
- 硬いものが噛みにくい
- 口臭が気になる
- 歯肉が時々腫れる
- 歯がグラグラする
- 歯肉が下がって歯と歯の間に隙間ができてきた

上記のような症状がありましたら、歯周病の可能性ががあります。早めに歯科医院を受診し全身の健康も守りましょう！

### 鏡によるセルフチェック あなたの歯肉はいかがですか？



歯肉炎

- ①歯肉が赤い
- ②歯と歯の間の歯肉が丸みを帯びふくらんでいる
- ③歯みがきなどで出血がある



歯周病

- ①歯肉が下がり歯の根が見える
- ②歯みがきなどで出血や膿が出る
- ③歯と歯の間が広がり食べ物もよくつまる
- ④歯がグラグラする

進行すると

気になる症状や鏡でのセルフチェックにおいて異常が見られた場合、かかりつけ歯科にご相談ください！

問い合わせ先 さいたま市保健衛生局保健部保健衛生総務課  
電話 048-829-1287

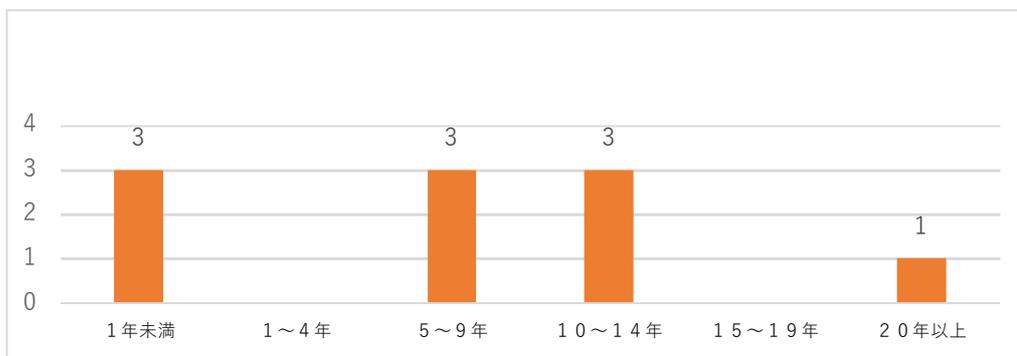
## 令和6年度口腔ケア研修会実施報告書

- 1 事業名 令和6年度障害者（児）に対する口腔ケア研修会
- 2 日時 令和7年1月16日（木）10時15分から11時40分まで
- 3 会場 旧中央区役所保健センター 3階ホール
- 4 研修会周知事業所数 751事業所
- 5 参加者数 受講者10名、講師（歯科衛生士）5名、事務局4名

## 6 受講者職種

主任	管理者	生活支援員	保育士	看護師
1人	2人	2人	2人	3人

## 7 受講者経験年数



## 8 受講者施設内訳（重複あり）

入所施設	3人
通所施設	8人

## 9 当日タイムスケジュール

- 10:00 受付開始
- 10:15 開会
- 10:20 実習「障害者（児）に対する口腔ケアの実際」  
講師 公益社団法人 埼玉県歯科衛生士会

11：20 質疑応答

11：40 閉会

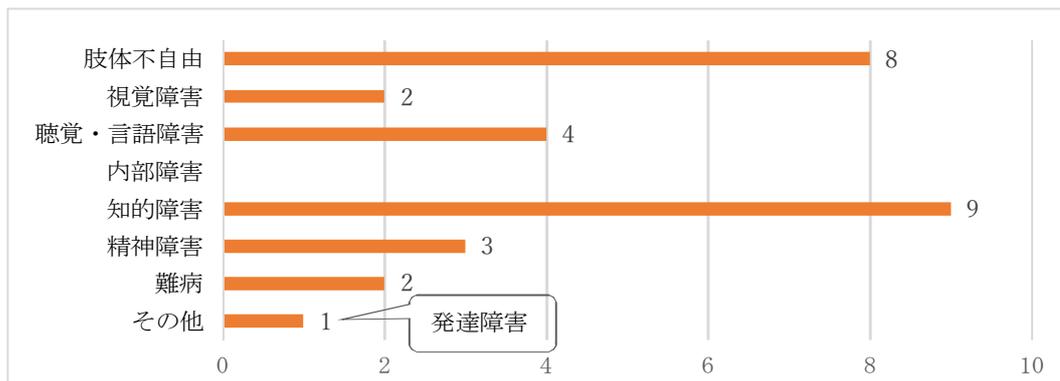
- 10 その他 研修参加者は、事前に歯科医師の講義動画を視聴  
講義 「障害者（児）に対する口腔ケアの基礎知識」  
講師 さいたま市歯科医師会 高島 英利氏  
視聴期間 12月25日～3月7日 視聴回数 77回  
※ 動画視聴のみの研修会参加も可能とした。

## 11 口腔ケア研修会アンケート集計結果

○アンケート回収率 10/10

### 問1. 施設の状況

#### 1. 施設の利用対象者（複数回答あり）

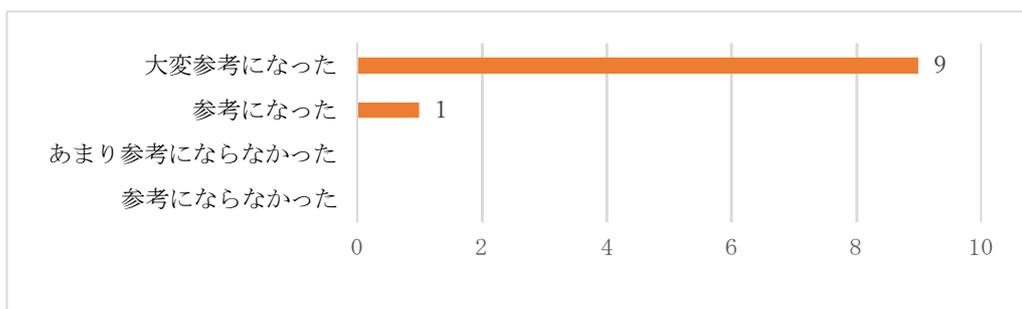


#### 2. 施設のサービス内容

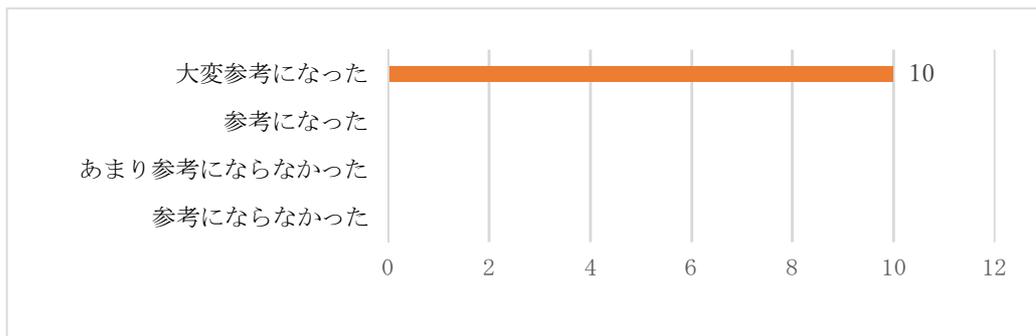
生活介護、児童発達支援、放課後等デイサービス

### 問2. 研修会の内容について

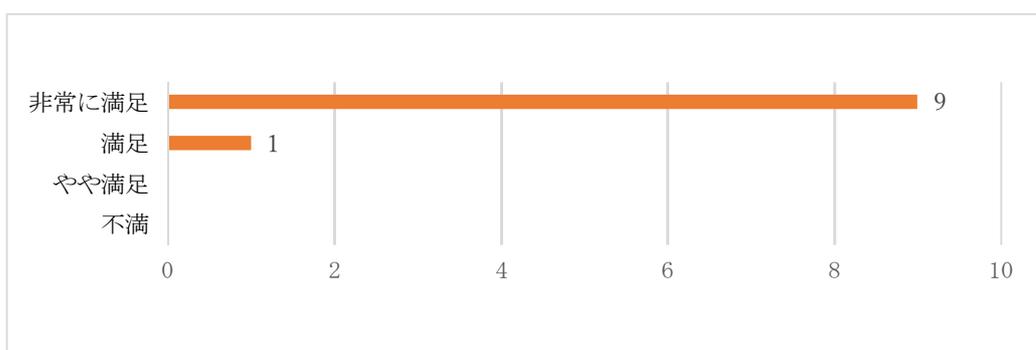
#### 1. 講義（動画視聴）「障害者（児）に対する口腔ケアの基礎知識」



## 2. 実技「障害者（児）に対する口腔ケアの実際」

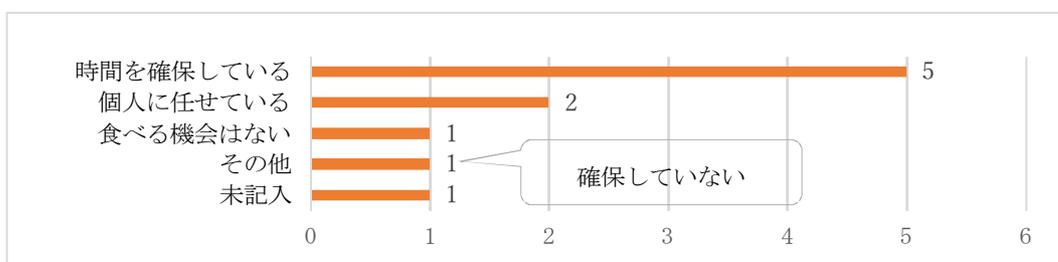


## 3. 今回の研修内容はいかがでしたか

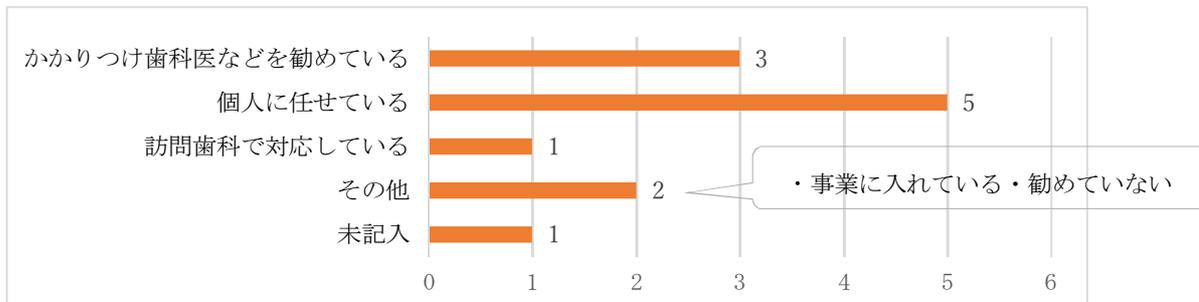


## 問3. 施設における歯科予防活動

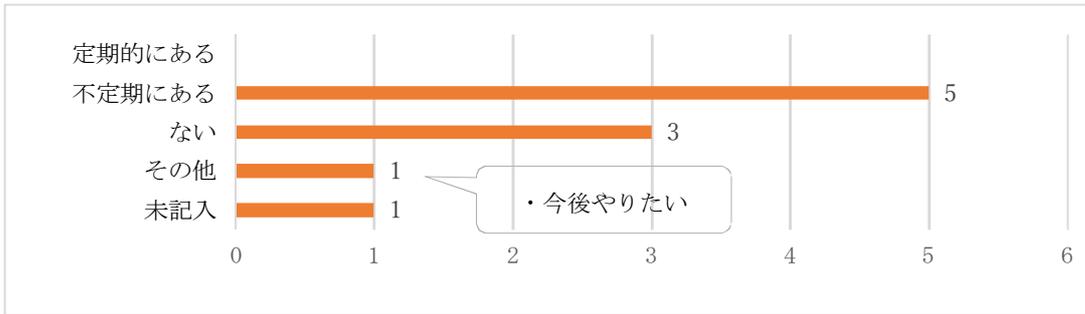
### 1. 施設において食後やおやつ後の歯みがき時間を設けていますか



### 2. 施設において定期的に歯科健診を受けるよう利用者に勧めていますか（複数回答あり）



### 3. 職員への歯科保健に関する研修会の開催はありますか



### 問4. その他

#### 1. 市が主催する口腔ケア研修に関する要望

- ・口腔ケアを通じてその他の成長発達（口腔内刺激→脳機能向上）、体幹保持、手指の改善などにつながる場所をもっと伺いたかった
- ・今日のセミナーはとても良かったです。時間が足りなくてできなかったという内容を第2弾としてやっていただけるとありがたい。
- ・今後も定期的で開催して欲しい。
- ・本日の内容がとても勉強になりましたので、ぜひ、定期的で開催していただきたい。

#### 2. 今回の研修以外に知りたいこと

- ・咀嚼のできない子についての支援の仕方
- ・障害児の摂食嚥下に関してのケアや支援

#### 3. 本日の感想・意見

- ・歯みがき粉を歯みがき後のうがいでどうしても流さないといけないと思っていましたが、塗っておくだけでも予防になると知りました。ありがとうございます。
- ・現場に合った内容で、大変参考になりました。現場支援に活かせるようスタッフに周知したいです。
- ・ジェルとブラシは初耳でした。今、口腔機能発達不全と診断されているお子さんが通所されています。本人やお母さまとの会話（アセスメント）のきっかけを頂きました。ありがとうございました。
- ・障害のある子たちへの正しい歯みがきの道具の使い方が知ることができてよかった。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。（同様2件）

#### 考察

今回の研修会では、研修会の講義（動画視聴）や実技においても、大変参考になった、非常に満足という回答を多く頂きました。通所施設職員の参加がやや多くありましたが、食後やおやつ後の歯みがき時間を確保している施設も見られ、口腔ケアの時間もスケジュールに組み込まれていることが把握できました。また、歯科受診に関しては、かかりつけ歯科医や個人に任せているとの回答がやや多く、施設内での訪問歯科診療などの利用は少ないことが判明しました。感想・意見から、障害のある方向けの歯みがき方法を再確認できたとの声をいただき、さらに今後の要望でも、定期的に研修会を実施して欲しいという意見を頂いたことや、実技に参加できなくても動画（講義）視聴回数が77回であったことから、より多くの参加を募るため、今後も研修会では、講義（動画視聴）と実技を組み合わせた開催手法とし、多忙な職員が参加しやすい工夫を行ってまいります。

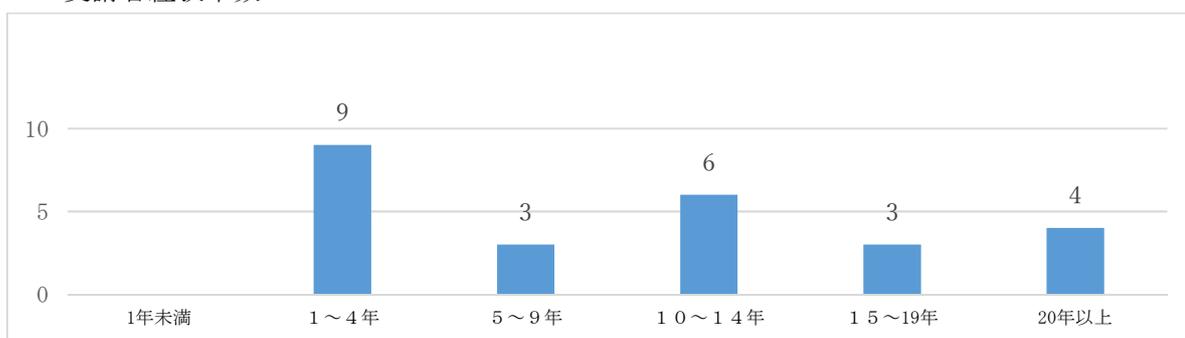
## 令和6年度口腔ケア研修会実施報告書

- 1 事業名 令和6年度要介護高齢者に対する口腔ケア研修会
- 2 日時 (1) 令和7年1月16日(木) 13時30分から14時45分まで  
(2) 令和7年1月16日(木) 15時15分から16時30分まで
- 3 会場 さいたま市旧中央区役所保健センター3階ホール
- 4 研修会周知事業所数 363事業所
- 5 受講者数 (1) 受講者15名、講師(歯科衛生士)5名、事務局4名  
(2) 受講者10名、講師(歯科衛生士)5名、事務局4名

### 6 受講者職種

事務	生活相談員	介護主任	介護支援専門員	施設長	訪問介護	看護師	介護職員	ケアワーカー	機能訓練指導員
2人	4人	1人	2人	1人	2人	4人	7人	1人	1人

### 7 受講者経験年数



### 8 当日タイムスケジュール

- (1) 13:15 受付開始
- 13:30 開会
- 13:33 実習「要介護高齢者への口腔ケアの実際」  
講師 公益社団法人 埼玉県歯科衛生士会
- 14:33 質疑応答
- 14:45 閉会

- (2) 15:00 受付開始  
 15:15 開会  
 15:18 実習「要介護高齢者への口腔ケアの実際」  
 講師 公益社団法人 埼玉県歯科衛生士会  
 16:18 質疑応答  
 16:30 閉会

- 9 その他 研修参加者は、事前に歯科医師の講義動画を視聴  
 講義 「高齢者に対する口腔ケア～基礎知識と口腔健康状態の評価～」  
 講師 さいたま市歯科医師会 鴨田 勇司氏  
 視聴期間 1月6日～3月7日 視聴回数 61回  
 ※ 動画視聴のみの研修会参加も可能とした。

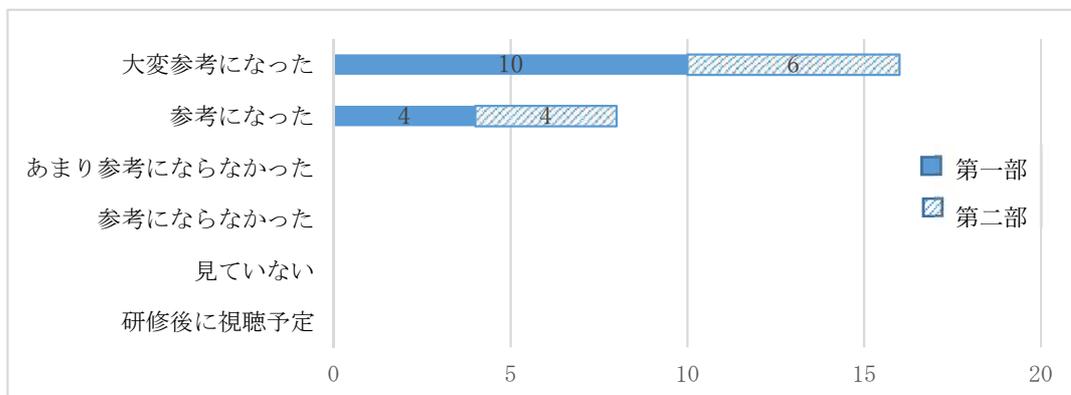
#### 10 口腔ケア研修会アンケート集計結果

○施設種別

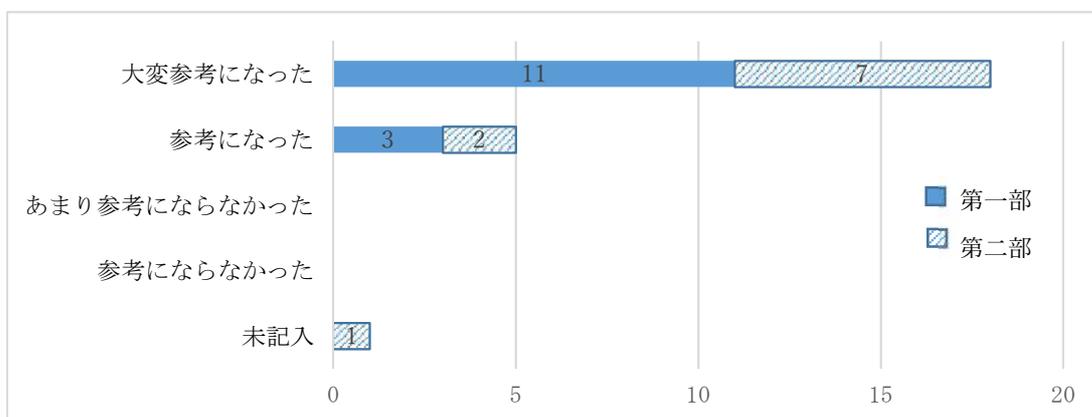
	第一部	第二部	合計
特別養護老人ホーム	7人	7人	14人
介護老人保健施設	0人	1人	1人
その他	・訪問看護 3人 ・サービス付き高齢者向け住宅 2人 ・在宅医療連携拠点 1人	・有料老人ホーム 2人	8人
未記入	1人	0人	1人

問1. 研修会の内容について

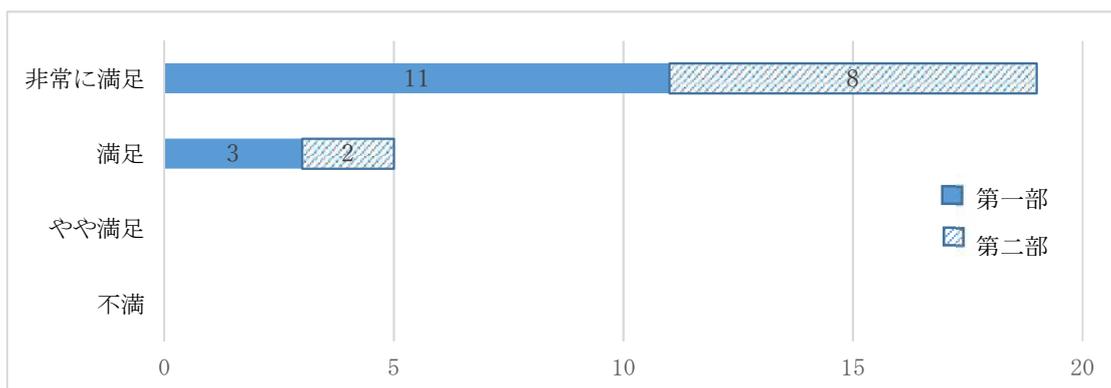
1. 講義（動画視聴）「高齢者に対する口腔ケア」



2. 実技「要介護高齢者に対する口腔ケアの実際」

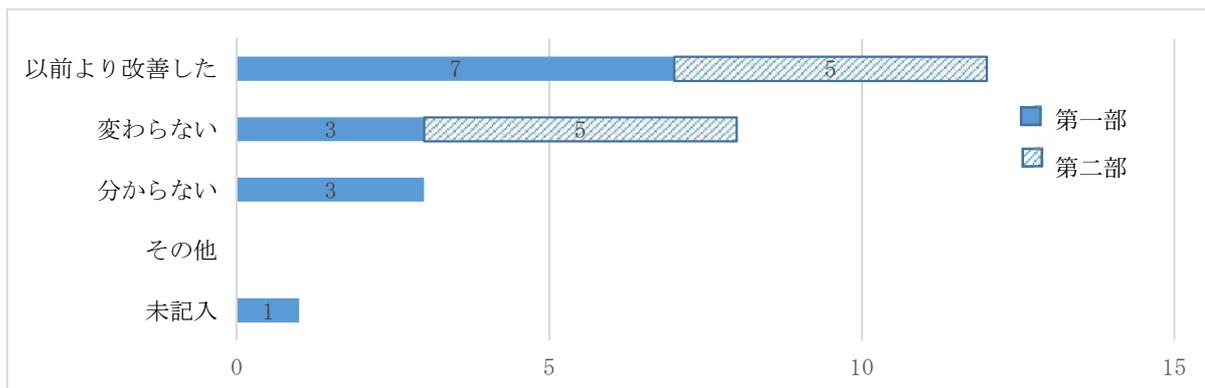


3. 今回の研修内容はいかがでしたか



問2. 施設における口腔衛生管理の強化

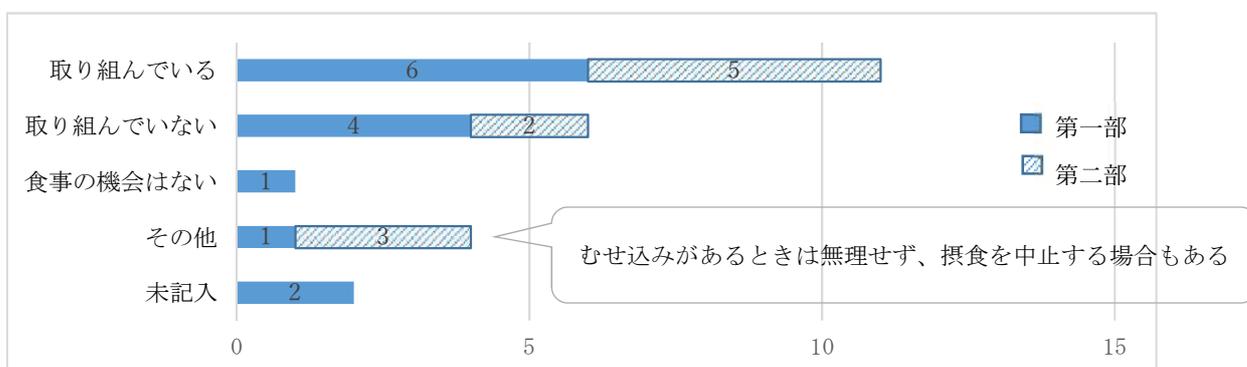
1. 口腔衛生管理の強化に伴い、利用者の口腔に関する問題を歯科専門職に相談する機会が増え、口腔衛生管理をすることが容易になりましたか



2. 以前より改善したと回答された方はその内容を記入ください

- ・もっと取り組みたいと思った
- ・コミュニケーションの機会が増え、施設でも年 1 回先生を講師として勉強会を開いている
- ・前より相談しやすくなった
- ・職員の意識が変わった
- ・歯科医師、歯科衛生士と会話できる機会が増えた
- ・絵などで具体的に清掃場所を教えてもらっている
- ・定期的に相談させて頂く機会ができ、具体的なケアの相談や指導が頂ける
- ・どの程度から相談するべきなのか、基準が明確になり、衛生管理に問題があっても、早期発見できることが増えた
- ・お口の開きが悪い方の開き方を教えてくださり、その方に合わせた口腔ケアができるようになってきたと思います。

3. 利用者の口腔清掃以外に食事中のむせ、飲み込み等摂食嚥下の状態も確認し、摂食を支援する管理を行うようにしていますか

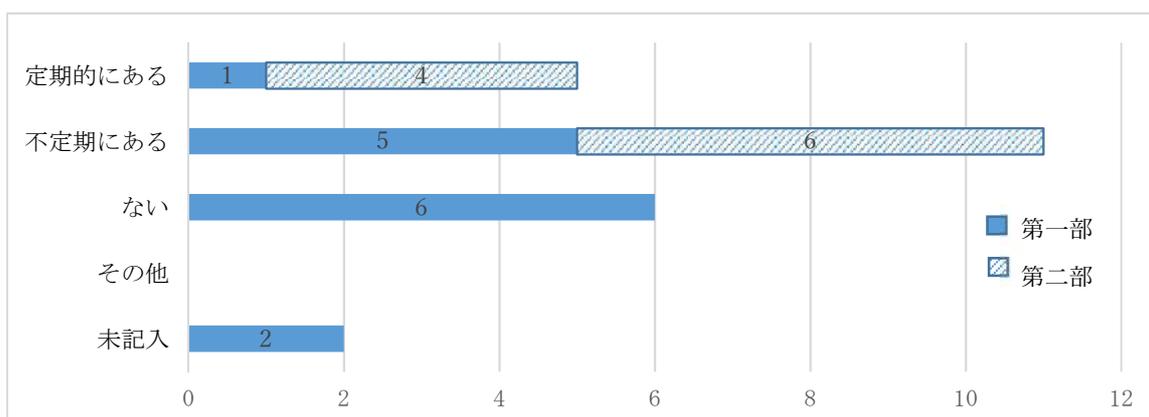


4. 積極的に取り組んでいると回答された方はその内容をご記載ください。

- ・ミールラウンドを1人週2回、飲み込みの評価を歯科医にお願いしている
- ・日々の様子を確認、情報共有（同様2件）
- ・月1回与野歯科医師会の口腔ケア健診でもミールラウンドを実施してもらっている
- ・訪問歯科でVEを行ってもらうこともある
- ・ミールラウンドに付き添い、歯科医師・医師の説明を聞いている
- ・管理栄養士やケアマネージャーが食事介助や観察を行い、摂食状態を確認している

問3. 施設における歯科保健予防活動

職員への歯科保健に関する研修会の開催はありますか



問4

1. 市が主催する口腔ケア研修に関する要望

- ・各施設をまわって研修をやっていただきたい
- ・もっと多くの介護職員が口腔ケア研修に参加できる機会を増やしてほしい
- ・地域で働く職種からは、MC研修要望が多く、ハイブリッド研修の依頼が多い
- ・定期的に数多く開いてほしい

2. 今回の研修以外に知りたいことがありましたら、ご記入ください

- ・飲み込みに関する評価方法、食べる姿勢について知りたい。

3. 本日の感想・ご意見

- ・スポンジやウェットティの具体的な使い方を知ることができ、明日から活かします。また、

質問に丁寧に答えていただきとても参考になりました。

- ・実技とてもわかりやすいです

- ・知っているようで知らなかったことがあり、再確認できたこともありました。(同様1件)

- ・普段していることの原因もはっきりわかったし知らない知識も得ることができました。(同様1件)

- ・大変参考になりました、施設に持ち込んで伝えていきたいと思います(同様3件)

- ・毎日のケアの大切さ、今日も学んだことをスタッフにも伝えていき、全体のスキルアップにつなげていきたいと思った。

- ・与野歯科医師会や担当の歯科医師、歯科衛生士が日ごろから相談に乗ってくださり、アドバイスもくださるので、疑問点は残らずケアに取り組んでいます。一番は、入居者さんの人数が多く、ひとりひとりに十分な時間がないこと。

#### 考察

今回の研修会では、特別養護老人ホームの施設職員の参加がやや多く、講義（動画視聴）、実技については、大変参考になったとの回答が多く、研修内容についても非常に満足という回答を多数頂きました。令和6年度に介護保険施設における口腔衛生管理が強化されたことに伴い、施設での口腔衛生の管理状況について確認しましたが、以前より改善し、歯科医師、歯科衛生士に定期的に相談できる機会が増え具体的なケアの相談や指導を受けることが容易になった施設が多数あることが把握できました。また、摂食支援の管理についてもミールラウンド等を実施し、利用者の摂食支援に努めている施設があることが確認できました。意見・感想から、日頃行っている口腔ケア方法の再確認や口腔ケアグッズの使用方法を改めて確認できた等の回答を頂き、さらに、研修会を増やしてほしいとの要望もありましたので、時間に制約のある施設職員向けに定期的に研修を開催し、より多くの職員が研修できるよう検討してまいります。

## さいたま市障害者歯科相談医等連携・紹介事業について

R7年度  
事業スタート

## 新規

## 障害者歯科相談医等連携紹介会議の開催

埼玉県歯科医師会口腔保健センターの歯科医師等と地域の歯科医療機関の歯科医師を構成員とする「さいたま市障害者歯科相談医等連携・紹介会議」を新たに立ち上げる。

連携・紹介会議の開催を通じて、埼玉県歯科医師会が運営する口腔保健センターから、診療の内容が治療後の継続的な管理やメンテナンスに移行するなど、障害者歯科相談医等が在籍する地域の歯科医療機関でも対応可能な患者の紹介を受け、地域の歯科医療機関で受け入れることにより、**患者やその家族の通院負担の軽減と予約待機期間の短縮**を図る。

また、定期的な連携・紹介会議の開催を通じて、埼玉県歯科医師会口腔保健センターと地域の歯科医療機関の歯科医師等が**“顔の見える関係”を作り、口腔保健センターと地域の歯科医療機関の連携体制の構築**を図る。

※障害者歯科相談医：埼玉県歯科医師会が、歯科医師に対して実技を中心に研修を行い、修了した者を障害者歯科相談医として指定している。

## 継続

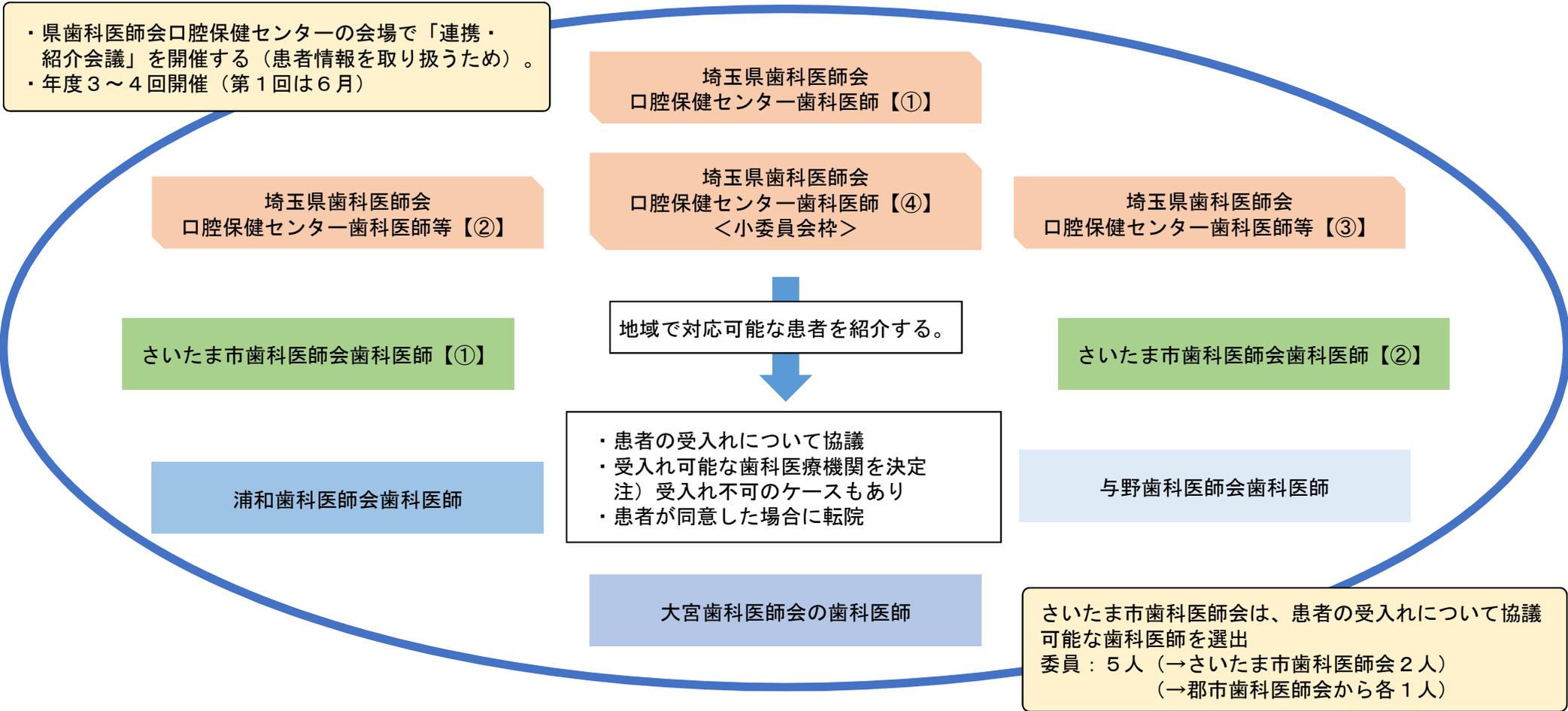
## 障害者歯科相談医ガイドブックの発行

障害者歯科相談医が在籍する地域の歯科医療機関を掲載した「障害者歯科相談医ガイドブック」を引き続き発行する。

ガイドブックの発行を通じて、地域の歯科医療機関での治療や検診を希望するにもかかわらず、受診することができていない障害のある方に対して、障害者歯科相談医が在籍する地域の歯科医療機関を紹介し、**障害のある方の受診機会の確保を支援**する。

ガイドブックは、各区保健センター等の行政窓口、歯科医療機関、薬局等で配布しているが、**昨年度、市立の特別支援学校や小・中学校へ配布先を拡大した。今年度は、本市の児童・生徒が通学している県立の特別支援学校への配布を目指す。**

# さいたま市障害者歯科相談医等連携・紹介会議について



## 【R7年度後半以降】臨時委員の選出

埼玉県歯科医師会口腔保健センターと「連携・紹介会議」の運営方法を調整し、患者の住所に応じて、出席する委員を追加することが可能となった場合には、令和7年度後半以降、改めて、行政区ごとに臨時委員を選出する。

